

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	スライディングシート「スピラドゥ」を用いた着脱介助方法の検討				
研究組織	代表者	所属・職名	短期大学部・准教授	氏名	木林 身江子
	研究分担者	所属・職名	短期大学部・助教	氏名	大石 桂子
		所属・職名	短期大学部・非常勤講師	氏名	秋山 みゆき
	発表者	所属・職名	短期大学部・准教授	氏名	木林 身江子

講演題目	スライディングシート「スピラドゥ」を用いた着脱介助方法の検討
------	--------------------------------

研究の目的、成果及び今後の展望

【研究の目的】
 更衣介助は、介護者が腰部を曲げる・捻るといった不良姿勢になる場面が多く、腰部をはじめとする筋骨格系への負担が高いことが予測される。また、ベッド上にて下着やズボンの着脱介助が必要な場合や要介護者が自力で腰部を浮かすことができない場合の介助は、腰痛発生の大きな要因になっている。近年は様々な福祉機器や福祉用具が開発され、更衣介助関連では、ソックスエイドやボタンエイド、着衣エイド等があり、介護福祉士養成テキスト「生活支援技術Ⅱ」のなかでも記載されている。しかし、スライディングシート「スピラドゥ」については、着脱動作で生じる摩擦を軽減する目的の福祉用具とされるが、その使用方法等の記載は見当たらず先行研究も少ないことから、介護現場への定着にはかなりの時間を要すると予想される。そこで、本研究では、介護福祉教育に含むべき更衣介助のためのスライディングシート「スピラドゥ」の活用方法について検討する。

【成果】
 理学療法士の伊藤氏を講師に招き、デンマークで開発されたスライディングシート（スピラドゥ）の活用方法について勉強会を開催。スピラドゥの特徴、使用目的、基本的な取り扱い方法として「敷き込み方・抜き方」「靴の履き方」「ベッド上でのズボンの履かせ方と脱がせ方」「弾性ストッキング（ソックス）の履き方・脱がせ方、および利用者本人が行う方法」について学習した。姿勢が不安定な利用者や身体が大きい利用者を想定し、細かい手技の指導を受け、自立支援の観点からもその使用方法を学ぶことができた。一方、「ベッド上での衣服の着脱方法」については、試行錯誤したが、スムーズな使用方法を編み出すことはできなかったため、「座位での上着の着脱方法」を確認した。

「敷き込み方・抜き方」「ベッド上でのズボンの履かせ方と脱がせ方」「靴の履き方」「弾性ストッキングの着脱」については、教育教材として手順書（案）を作成した。

【今後の展望】
 スピラドゥを使用した更衣介助について、介護者および被介護者による評価を行い、具体的な教育方法を検討する。